

令和5年度

北方町上水道事業会計決算審査意見書

北方町監査委員

北 監 第 33 号  
令和 6 年 7 月 18 日

北方町長 戸部 哲哉 様

北方町監査委員 横 山 治

北方町監査委員 石 井 伸 弘

令和 5 年度北方町上水道事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された令和 5 年度北方町上水道事業会計決算について審査した結果、次のとおり意見を付します。

## 令和5年度北方町上水道事業会計決算審査意見書

### 第1 審査の概要

- 1 審査の対象 令和5年度北方町上水道事業会計
- 2 審査の期間 令和6年6月26日
- 3 審査の手続

審査に当たっては、町長から提出された決算書類及び決算附属書類が、上水道事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表・総勘定元帳・その他帳簿及び証拠書類の照合等通常実施すべき審査手続を実施したほか、必要と認めるその他の審査手続を実施した。

### 第2 審査の結果

損益計算書、貸借対照表等の財務諸表、並びに決算報告書及びその他附属書類については、計数に誤りなく適正に記帳されており、当会計年度における上水道事業の経営成績及び財政状態をおおむね適正に表示しているものと認めた。

### 第3 事業の実績

当年度の工事は、配水管布設工事1件で事業費4,129,400円、配水管布設替工事が4件で事業費32,671,100円、消火栓設置工事1件777,700円であった。また、水源地No.1配水ポンプ更新工事18,260,000円、水源地外構整備工事14,202,100円、町道47号線側溝改良工事304,700円を行った。その他、翌年度に繰り越した工事が3件（水源地高圧ケーブル更新工事、配水管布設付帯工事、小柳1丁目地内配水管布設替工事）あった。（金額は消費税込）

当年度末における北方町の給水人口は17,774人と推定されており、行政区域内人口に対する普及率は95.7%で、前年度に比べ0.1%増加した。また、年間総配水量は、2,633,639 $\text{m}^3$ で前年度に比べて14,398 $\text{m}^3$ (0.5%)増加、年間有収水量は、1,815,623 $\text{m}^3$ で前年度に比べて35,273 $\text{m}^3$ ( $\Delta$ 1.9%)減少となった。年間有収率は68.9%で前年度と比べて1.8%減少となっている。年間有収水量の減少については、北方西小学校の閉鎖及び年間3万 $\text{m}^3$ ほど使用していた「大洋電機(株)」が水使用を見直したことにより大幅に使用量が減少したことが要因と予測される。



○業務実績比較表

| 区 分       | 令和 5 年度                  | 令和 4 年度                  | 増 減                    | 比 率    |
|-----------|--------------------------|--------------------------|------------------------|--------|
| 年度末給水件数   | 7,810 件                  | 7,803 件                  | 7 件                    | 100.1% |
| 年度末給水人口   | 17,774 人                 | 17,794 人                 | △20 人                  | 99.9%  |
| 年間総配水量    | 2,633,639 m <sup>3</sup> | 2,619,241 m <sup>3</sup> | 14,398 m <sup>3</sup>  | 100.5% |
| 1 日平均配水量  | 7,196 m <sup>3</sup>     | 7,176 m <sup>3</sup>     | 20 m <sup>3</sup>      | 100.3% |
| 年間有収水量    | 1,815,623 m <sup>3</sup> | 1,850,896 m <sup>3</sup> | △35,273 m <sup>3</sup> | 98.1%  |
| 1 日平均有収水量 | 4,961 m <sup>3</sup>     | 5,071 m <sup>3</sup>     | △110 m <sup>3</sup>    | 97.8%  |
| 年間有収率     | 68.9%                    | 70.7%                    | △1.8%                  | 97.5%  |

(単位 : m<sup>3</sup> ・ % ・ kwh)

| 年度      | 年間総<br>配水量 | 年 間<br>有収水量 | 有収率  |      | 水 源 池<br>電力使用量 |
|---------|------------|-------------|------|------|----------------|
|         |            |             | 北方町  | 岐阜県  |                |
| 令和元年度   | 2,725,079  | 1,771,337   | 65.0 | 78.7 | 942,393        |
| 令和 2 年度 | 2,648,794  | 1,821,630   | 68.8 | 78.5 | 889,291        |
| 令和 3 年度 | 2,642,131  | 1,856,002   | 70.2 | 78.5 | 887,371        |
| 令和 4 年度 | 2,619,241  | 1,850,896   | 70.7 | 77.8 | 877,288        |
| 令和 5 年度 | 2,633,639  | 1,815,623   | 68.9 | —    | 838,951        |

## 第4 経営状況

### (1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の収支状況は、営業収支は営業収益 164,751,233 円に対し、営業費用 144,404,438 円で 20,346,795 円の利益となっている。営業外収支については、営業外収益 10,413,908 円に対し、営業外費用 782,102 円で 9,631,806 円の利益となっている。その結果、経常収支は 29,978,601 円の利益となっている。

また、本年度の純利益は経常収支から特別利益を加え、特別損失を差し引いた 29,799,232 円となり、前年度と比べると 1,236,418 円（△4.0%）の減少となっている。

### ア 水道事業収益

水道事業収益の総額は 175,449,141 円で、その内訳は営業収益 164,751,233 円、営業外収益 10,413,908 円、特別利益 284,000 円となっている。

営業収益は、前年度に比べて 13,377,549 円（8.8%）の増加となっている。これを科目別にみると、給水収益では 13,456,440 円（9.2%）増加し 159,442,520 円、受託工事収益では 91,000 円（皆減）減少し 0 円、他会計負担金では 28,209 円（1.6%）増加し 1,768,995 円、その他営業収益では 16,100 円（△0.5%）減少し 3,539,718 円となっている。給水収益に関しては、令和 4 年度に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援事業として、水道料金を一定期間減免したため前年度と比較して大きく減少したが、令和 5 年度は通常に戻り減免はなかったため、令和 4 年度に比して増加した。

営業外収益については、17,218,640 円（△62.3%）の減少となっている。これを科目別にみると、受取利息及び配当金では 1,583 円（△6.3%）減少し 23,566 円、他会計補助金では前年度の 16,969,150 円から 0 円に（皆減）、長期前受金戻入では 338,929 円（△3.4%）減少し 9,734,542 円、雑収益では 91,022 円（16.1%）増加し 655,800 円となっている。他会計補助金は令和 4 年度に前述の緊急支援事業を行ったことにより、一般会計から補助金が給付されたが、令和 5 年度はそれが無くなったことにより大幅な減額となった。

以上のように、本年度について営業収益は増加したものの営業外収益が減額したことにより、水道事業収益全体では 3,557,091 円（△2.0%）の減少となった。

### イ 水道事業費用

水道事業費用の総額は 145,649,909 円で、その内訳は営業費用 144,404,438 円、営業外費用 782,102 円、特別損失 463,369 円となっている。

営業費用は、前年度に比べて 12,090 円（△0.0%）の減少となっている。これを科目別にみると、配水及び給水費では 4,257,102 円（△6.3%）減少し 63,436,403 円、受託工事費では 91,000 円（皆減）減少し 0 円、総係費では



5,745,302 円 (13.8%) 増加し 47,236,540 円、減価償却費では 673,149 円 (△2.0%) 減少し 33,134,864 円、資産減耗費では 736,141 円 (△55.2%) 減少し 596,631 円となっている。配水及び給水費が大幅に減少した理由は、令和4年度に高騰した電気料金が令和5年度には落ち着いたことから、動力費が大きく減少したことによるものである。

営業外費用については、2,222,601 円 (△74.0%) の減少となっている。これを科目別にみると、支払利息及び企業債取扱諸費では 649,657 円 (△46.8%) 減少し 737,198 円、雑支出は 1,572,944 (△97.2%) 減少し 44,904 円となっている。

特別損失については、85,982 円 (△15.7%) の減少となっている。これを科目別にみると、過年度損益修正損は 1,680 円 (△25.5%) 減少し 4,900 円、その他特別損失では 84,302 円 (△15.5%) 減少し 458,469 円となっている。

以上のように、本年度の費用については営業費用の総係費が増加したものの、その他の科目が減少したことにより、水道事業費用全体では 2,320,673 円 (△1.6%) の減少となっている。

## (2) 資本的収入及び支出

資本的収入の総額は 12,179,000 円で、前年度に比べて 10,502,800 円 (△46.3%) 減少している。これを科目別にみると、負担金では 6,877,200 円 (△53.4%) 減少し 6,007,100 円となり、加入金では 3,625,600 円 (△37.0%) 減少し 6,172,100 円となっている。

資本的支出の総額については 85,191,070 円で、24,385,763 円 (△22.3%) 減少している。これを科目別にみると、建設改良費では 16,883,210 円 (△18.3%) 減少し 75,473,070 円となり、企業債償還金では 7,502,553 円 (△43.6%) 減少し 9,718,000 円となっている。

以上のように、資本的収支は差し引き 73,011,870 円の不足額が生じているが、これは当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税・地方消費税資本的収支調整額及び建設改良積立金により全額補填されている。

○収支状況の年次別比較

(単位:円・%)

| 科 目             | 年 度   | 令和5年度       | 令和4年度       | 差引増減        |       |
|-----------------|-------|-------------|-------------|-------------|-------|
|                 |       |             |             | 金 額         | 増減率   |
| 営業収益            | A     | 164,751,233 | 151,373,684 | 13,377,549  | 8.8   |
| 営業費用            | B     | 144,404,438 | 144,416,528 | △12,090     | △0.0  |
| 営業収支            | C=A-B | 20,346,795  | 6,957,156   | 13,389,639  | 192.5 |
| 営業外収益           | D     | 10,413,908  | 27,632,548  | △17,218,640 | △62.3 |
| 営業外費用           | E     | 782,102     | 3,004,703   | △2,222,601  | △74.0 |
| 営業外収支           | F=D-E | 9,631,806   | 24,627,845  | △14,996,039 | △60.9 |
| 経常収支            | G=C+F | 29,978,601  | 31,585,001  | △1,606,400  | △5.1  |
| 特別利益            | H     | 284,000     | 0           | 284,000     | —     |
| 特別損失            | I     | 463,369     | 549,351     | △85,982     | △15.7 |
| 純利益(△純損失) G+H-I |       | 29,799,232  | 31,035,650  | △1,236,418  | △4.0  |

○収益内訳明細（消費税抜き）

(単位:円・%)

|       | 科 目       | 令和5年度       |       | 令和4年度       |       | 差引増減        |       |
|-------|-----------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
|       |           | 金 額         | 構成比   | 金 額         | 構成比   | 金 額         | 増減率   |
| 営業収益  | 給水収益      | 159,442,520 | 90.9  | 145,986,080 | 81.6  | 13,456,440  | 9.2   |
|       | 受託工事収益    | 0           | 0.0   | 91,000      | 0.1   | △91,000     | 皆 減   |
|       | 他会計負担金    | 1,768,995   | 1.0   | 1,740,786   | 1.0   | 28,209      | 1.6   |
|       | その他営業収益   | 3,539,718   | 2.0   | 3,555,818   | 2.0   | △16,100     | △0.5  |
|       | 小 計       | 164,751,233 | 93.9  | 151,373,684 | 84.6  | 13,377,549  | 8.8   |
| 営業外収益 | 受取利息及び配当金 | 23,566      | 0.0   | 25,149      | 0.0   | △1,583      | △6.3  |
|       | 他会計補助金    | 0           | 0.0   | 16,969,150  | 9.5   | △16,969,150 | 皆 減   |
|       | 長期前受金戻入   | 9,734,542   | 5.5   | 10,073,471  | 5.6   | △338,929    | △3.4  |
|       | 雑収益       | 655,800     | 0.4   | 564,778     | 0.3   | 91,022      | 16.1  |
|       | 小 計       | 10,413,908  | 5.9   | 27,632,548  | 15.4  | △17,218,640 | △62.3 |
| 特別利益  | 過年度損益修正益  | 284,000     | 0.2   | 0           | 0.0   | 284,000     | 皆 増   |
|       | その他特別利益   | 0           | 0.0   | 0           | 0.0   | 0           | —     |
|       | 小 計       | 284,000     | 0.2   | 0           | 0.0   | 284,000     | —     |
| 計     |           | 175,449,141 | 100.0 | 179,006,232 | 100.0 | △3,557,091  | △2.0  |



○費用内訳明細（消費税抜き）

(単位:円・%)

| 科 目   | 年 度           | 令和5年度       |      | 令和4年度       |       | 差引増減       |       |
|-------|---------------|-------------|------|-------------|-------|------------|-------|
|       |               | 金 額         | 構成比  | 金 額         | 構成比   | 金 額        | 増減率   |
| 営業費用  | 配水及び給水費       | 63,436,403  | 43.6 | 67,693,505  | 45.7  | △4,257,102 | △6.3  |
|       | 受託工事費         | 0           | 0.0  | 91,000      | 0.1   | △91,000    | 皆減    |
|       | 総係費           | 47,236,540  | 32.4 | 41,491,238  | 28.0  | 5,745,302  | 13.8  |
|       | 減価償却費         | 33,134,864  | 22.7 | 33,808,013  | 22.8  | △673,149   | △2.0  |
|       | 資産減耗費         | 596,631     | 0.4  | 1,332,772   | 0.9   | △736,141   | △55.2 |
|       | 小 計           | 144,404,438 | 99.1 | 144,416,528 | 97.6  | △12,090    | △0.0  |
| 営業外費用 | 支払利息及び企業債取扱諸費 | 737,198     | 0.5  | 1,386,855   | 0.9   | △649,657   | △46.8 |
|       | 雑支出           | 44,904      | 0.0  | 1,617,848   | 1.1   | △1,572,944 | △97.2 |
|       | 小 計           | 782,102     | 0.5  | 3,004,703   | 2.0   | △2,222,601 | △74.0 |
| 特別損失  | 過年度損益修正損      | 4,900       | 0.0  | 6,580       | 0.0   | △1,680     | △25.5 |
|       | その他特別損失       | 458,469     | 0.3  | 542,771     | 0.4   | △84,302    | △15.5 |
|       | 小 計           | 463,369     | 0.3  | 549,351     | 0.4   | △85,982    | △15.7 |
| 計     |               | 145,649,909 | 99.9 | 147,970,582 | 100.0 | △2,320,673 | △1.6  |

○資本的収入支出明細

(単位:円・%)

| 科 目            | 年 度    | 令和5年度       | 令和4年度       | 差引増減        |       |
|----------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------|
|                |        |             |             | 金 額         | 増減率   |
| 資本的収入          | A      | 12,179,200  | 22,682,000  | △10,502,800 | △46.3 |
|                | 負担金    | 6,007,100   | 12,884,300  | △6,877,200  | △53.4 |
|                | 加入金    | 6,172,100   | 9,797,700   | △3,625,600  | △37.0 |
| 資本的支出          | B      | 85,191,070  | 109,576,833 | △24,385,763 | △22.3 |
|                | 建設改良費  | 75,473,070  | 92,356,280  | △16,883,210 | △18.3 |
|                | 企業債償還金 | 9,718,000   | 17,220,553  | △7,502,553  | △43.6 |
| 資本的収支<br>C=A-B |        | △73,011,870 | △86,894,833 | 13,882,963  | △16.0 |



## 第5 財政状況

### (1) 資産

資産の総額は 1,601,468,857 円で、その内訳は固定資産 1,002,714,433 円、流動資産 598,754,424 円で、前年度に比べて 18,191,807 円(1.1%)増加している。

これを科目別にみると、固定資産では、建物、建物附属設備、工具器具及び備品で減少したものの、構築物、機械及び装置、車輛運搬具及び建設仮勘定で増加したため、42,323,384 円(4.4%)の増加となっている。流動資産では、貯蔵品が増加したものの、現金預金及び未収金が減少したため、24,131,577 円(△3.9%)の減少となっている。

### (2) 負債

負債の総額は 404,841,058 円で、その内訳は固定負債 3,021,011 円、流動負債 59,760,583 円、繰延収益 342,059,464 円で、前年度に比べて 11,607,425 円(△2.8%)減少している。

これを科目別にみると、固定負債では、企業債で 8,979,968 円(△74.8%)減少となっている。流動負債では、引当金が 434,000 円(20.1%)増加したものの、企業債で 738,032 円(△7.6%)、未払金で 11,332,015 円(△24.6%)、それぞれ減少した。なお、企業債の期末未償還残高は 12,000,979 円で、前年度に比べて 9,718,000 円(△44.7%)の減少となっている。

### (3) 資本

資本の総額は 1,196,627,799 円で、前年度に比べて 29,799,232 円(2.6%)増加している。これを科目別にみると、剰余金で 29,799,232 円(3.8%)増加し 814,732,791 円となっている。

### (4) 財務分析

経営成績を収益率でみると、前年度に比べて営業収支比率は 9.3 ポイント増加し 114.1%、総収支比率は 0.5 ポイント減少し 120.5%となっている。営業収益は営業費用を上回っており、収益率を確保している。

財政状態を各指数で分析し、企業の債務に対する短期の支払能力について前年度と比べると、流動比率は 1,001.9%で 129.8 ポイント、酸性試験比率(当座比率)は 979.2%で 126.0 ポイントそれぞれ増加している。本年度の主な増加要因は、未払金の減少による流動負債の減少によるものであるが、引き続き企業の短期流動性は良好な状態が維持されている。

次に、企業の長期健全性について前年度と比べると、固定資産対長期資本比率は 65.0%で 1.5 ポイント、固定資産構成比率は 62.6%で 1.9 ポイント増加し、基準の範囲内にあって長期健全性は保たれているといえる。



# ○貸借対照表 要旨

(単位:円・%)

| 科目     | 年度    | 令和5年度         |       | 令和4年度         |       | 差引増減         |        |
|--------|-------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|--------|
|        |       | 金額            | 構成比   | 金額            | 構成比   | 金額           | 増減率    |
| 資産総額   | 固定資産  | 1,002,714,433 | 62.6  | 960,391,049   | 60.7  | 42,323,384   | 4.4    |
|        | 流動資産  | 598,754,424   | 37.4  | 622,886,001   | 39.3  | △ 24,131,577 | △ 3.9  |
|        | 計     | 1,601,468,857 | 100.0 | 1,583,277,050 | 100.0 | 18,191,807   | 1.1    |
| 負債総額   | 固定負債  | 3,021,011     | 0.7   | 12,000,979    | 2.9   | △ 8,979,968  | △ 74.8 |
|        | 流動負債  | 59,760,583    | 14.8  | 71,419,598    | 17.1  | △ 11,659,015 | △ 16.3 |
|        | 繰延収益  | 342,059,464   | 84.5  | 333,027,906   | 80.0  | 9,031,558    | 2.7    |
|        | 計     | 404,841,058   | 100.0 | 416,448,483   | 100.0 | △ 11,607,425 | △ 2.8  |
| 差引(資本) |       | 1,196,627,799 |       | 1,166,828,567 |       | 29,799,232   | 2.6    |
| 資本金    | 自己資本金 | 381,895,008   | 31.9  | 381,895,008   | 32.7  | 0            | 0.0    |
|        | 借入資本金 | -             | -     | -             | -     | -            | -      |
|        | 小計    | 381,895,008   | 31.9  | 381,895,008   | 32.7  | 0            | 0.0    |
| 剰余金    | 資本剰余金 | 37,896,310    | 3.2   | 37,896,310    | 3.2   | 0            | 0.0    |
|        | 利益剰余金 | 776,836,481   | 64.9  | 747,037,249   | 64.0  | 29,799,232   | 4.0    |
|        | 小計    | 814,732,791   | 68.1  | 784,933,559   | 67.3  | 29,799,232   | 3.8    |
| 計      |       | 1,196,627,799 | 100.0 | 1,166,828,567 | 100.0 | 29,799,232   | 2.6    |

## ○企業債の状況

(単位:円・%)

| 科目      | 年度 | 令和5年度      | 令和4年度      | 差引増減       |       |
|---------|----|------------|------------|------------|-------|
|         |    |            |            | 金額         | 増減率   |
| 当年度償還高  |    | 9,718,000  | 17,220,553 | △7,502,553 | △43.6 |
| 支払利息    |    | 737,198    | 1,386,855  | △649,657   | △46.8 |
| 期末未償還残高 |    | 12,000,979 | 21,718,979 | △9,718,000 | △44.7 |

## ○経営分析表

| 区分   | 項目          | 算式                                                                                   | 令和5年度   | 令和4年度 | 基準      |
|------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------|---------|
| 構成比率 | 固定資産構成比率    | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$                                          | 62.6    | 60.7  | 低率が望ましい |
|      | 自己資本構成比率    | $\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$           | 96.1    | 94.7  | 50%以上   |
| 財務比率 | 固定資産対長期資本比率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 65.0    | 63.5  | 100%以下  |
|      | 固定比率        | $\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$             | 65.2    | 64.0  | 100%以下  |
|      | 流動比率        | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$                                         | 1,001.9 | 872.1 | 200%以上  |
|      | 酸性試験比率      | $\frac{\text{現金預金} + \text{未収金} - \text{貸倒引当金}}{\text{流動負債}} \times 100$             | 979.2   | 853.2 | 100%以上  |
| 収益率  | 総収支比率       | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$                                           | 120.5   | 121.0 | 100%以上  |
|      | 営業収支比率      | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$         | 114.1   | 104.8 | 100%以上  |



## 第6 むすび

上水道事業会計について、まず収益的収支を前年度と比べると、収益的収入は、3,557,091 円（△2.0%）減少し 175,449,141 円となった。給水収益に関して言えば、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援事業として水道料金を一定期間減免したため給水収益が大きく減少したが、令和5年度は減免がなかったため通常の額に戻ったと言える。収益的支出については、2,320,673 円（△1.6%）減少し 145,649,909 円となった。これは、主に営業外費用（支払い利息及び企業債取扱諸費、雑支出）の減少によるものである。その結果、本年度の収益的収支は 29,799,232 円の純利益を生じ、前年度からの繰越利益剰余金、その他未処分利益剰余金変動額を合わせて、634,022,154 円の当年度未処分利益剰余金を計上することとなった。

次に、資本的収支を前年度と比べると、資本的収入は、負担金及び加入金が減少となったことにより、10,502,800 円（△46.3%）減少し 12,179,200 円となった。資本的支出についても、建設改良費及び企業債償還金が減少したことにより 24,385,763 円（△22.3%）減少し、85,191,070 円となった。その結果、本年度の資本的収支は 73,011,870 円の不足が生じ、当年度分損益勘定留保資金や建設改良積立金などで補填されることとなった。

また、貸借対照表を前年度末と比べると、資産の部は、固定資産の増加により流動資産は減少したものの、18,191,807 円（1.1%）増加し、1,601,468,857 円となった。負債の部については、主に繰延収益は増加したが固定負債及び流動負債が減少したことにより 11,607,425 円（△2.8%）減少し、404,841,058 円となった。資本の部については、利益剰余金が増加したことにより、29,799,232 円（2.6%）増加し、1,196,627,799 円となった。

本年度の決算状況は上記のとおりであり、収益的収支は昨年に引き続き黒字決算となり、当年度純利益は前年度に比べて 1,236,418 円（△4.0%）減少している。また、資本的収支の不足額は、13,882,963 円（△16.0%）減少している。

水道事業の経営基盤を示す各指標をみると、構成比率では固定資産構成比率が前年度に比べて1.9ポイント増加し62.6%となったが、経営の安全性は依然高いと考える。財務比率では流動比率、酸性試験比率が増加し、短期支払能力は良好な状態を維持している。収益率では総収支比率は減少し、営業収支比率が増加する結果となったが、基準値以上の値を示しており、引き続き良好な事業経営が行われているといえる。

企業債に関しては平成19年以降、新たな借り入れもなく順調に償還している。新たな借り入れがなくとも工事等を行えており、安定した経営が行えているといえる。また、有収率については、令和5年度は令和4年度に比べて減少し68.9%となり、3年ぶりに70%を下回った。しかしながら、毎年漏水箇所を調査して修繕を続けていくものの、老朽化した管が他の箇所でも新たに漏水し続けるのでなかなか有収率が改善されないことも理解できる。これまで同様、漏水調査・修繕は継続して行うことに加えて、本管の耐震化を進めていくことで漏水対策も推進していることとして考えてよいと思われる。

最後に、経営は安定していると言えるが、資材や電気代の高騰、また老朽化した機械の故障や災害に備えた管路の整備など今後も費用がかさむことが予想され、慎重な水道事業の運営をお願いしたい。特に、材料費等が高騰し続けることが予測できるのであれば、安価な時に工事等をできるだけ進めていくことが経費の節約にもつながると思う。また、今後大きな費用がかかる本管の耐震化工事については水道会計だけではできないことは明らかであり、町全体の事業としてどのように推進していくかは慎重に検討していただきたい。